2025 年度

SGT　活動レポート

第3回　C 班
ステンドグラス講座

11 月 5 日（水）に第 3 回ステンドグラス講座を、実施しました。中学生 2 年生を対象に、全体4回で行われる講座の 3 回目で、中学2年 2 組、3 組の生徒 24 名が参加しました。

ステンドグラス工房かわもと様の3名の先生方に指導していただいてきた「キャンドルボックス」の製作も 3 回目になりました。

前回までに、選んだデザインのとおりにガラスを削り、自分のオーナメントのイメージが見えてきました。今日の作業は、そのガラスのパーツ同士をはんだ付けしてつなげて行く工程になります。

今日の作業は、準備段階として、それぞれのパーツの周辺に銅のテープを巻いて行く作業になります。前回、作業が速い生徒の中にはこの作業に取り掛かっていた人もいました。ガラスそのものにははんだが付かないため、あらかじめ銅を巻かないと接合ができないのだそうで、百数十年前に考案された手法だそうです。銅の色ははんだがのれば見えなくなってしまうので問題ありません。銅のテープを巻く際に、「時間が経ってもはがれないように、テープの端を、パーツ同士が接する辺になるようにすること」や、「巻いたテープをヘラで圧着すること」などに注意しながら、生徒たちはていねいに作業を進めていました。

オーナメントの後には、ボックス部分のテープ巻きになります。ボックス用のテープは長さが全パーツ同じなため、あらかじめ先生方で同じ長さに切り分けてくださってありました。細かな配慮をありがたく思いました。

テープを巻き終わり、いよいよハンダ付けになります。今日の講習のはじめに説明された、「ハンダのりをよくするためにペーストをつけること」、「ペーストは、マツヤニ、牛脂、ニカワという自然素材でできているため安全であること」、「最初に交点にハンダを置く『点付け』をして形を固定してから始めること」、「軍手をして、溶けたハンダには触らないこと」など、いろいろな注意点を意識して、慎重に作業をしました。先生のお手本で、表面はハンダが盛り上げるように、裏面は平坦になるように、苦も無くハンダ付けしていたのですが、いざやってみるとなかなかうまくはできません。試行錯誤をくりかえして、何とかオーナメントを完成させることができました。

ガラスのかけらだったものが接合されて形になると、思っていた以上にきれいで、生徒たちは達成感を感じていたようです。次回は 11 月 12 日（火）に最終回の第4回になります。ハンダ付けでボックス部分を接合し、今日作成したオーナメントを取り付けて完成となります。

ハンダづけの方法を教えていただきます。やけどをしないように、真剣に聴いています。

パーツのまわりに銅のテープを圧着していきます。巻き始め、巻き終わりがポイントです。

パーツを接合してオーナメントを作っていきます。

ハンダ付けを先生にていねいに指導していただきます。

だんだん形になってきて、集中力も高まります。

ハンダ付けにも慣れてきて、手際よく作業が進みます。

こんなにきれいに「シェル」が完成しました。色合いも、透明ガラスの使い方も素晴らしい。

パーツが細かく、曲線が多い「猫」に挑戦。上々の出来栄えに満足げです。